

# マティアス・キルシュネライト ピアノマスタークラス・コンサート



*Matthias Kirschnereit*

2023.11.20.(月) 平成音楽大学  
ベートーヴェンホール

13:00 ~ 14:35 公開レッスン (ピアノマスタークラス)

13:05 ~ 13:50 橋本 円花 (音楽学科4年生) ♪ F. ショパン / 舟歌 嬰へ長調 Op.60

13:50 ~ 14:35 中村 桃華 (音楽専攻科) ♪ F. ショパン / スケルツォ第3番 嬰ハ短調 Op.39  
♪ F. ショパン / ノクターン第2番 変ホ長調 Op.9-2

14:45 ~ 15:15 コンサート

~ マティアス・キルシュネライトの素晴らしいピアノの世界をお楽しみください ~

主催：平成音楽大学

入場料：2,000 円 <当日券 2,500 円>  
(マスタークラス・コンサート)

お問  
い  
合  
わ  
せ

HEISEI COLLEGE OF MUSIC  
平成音楽大学

〒861-3295 熊本県上益城郡御船町滝川 1658  
TEL:096-282-0506 FAX:096-282-7800  
E-mail:perform@heisei-music.ac.jp

# Profile



## マティアス・キルシュネライト (ドイツ) Matthias Kirschnereit

キルシュネライトの音楽へのアプローチは、およそ想像可能な中で最も美しい。常に豊かな感情、躍動感、奏でる音楽の人間的側面を追い求めている。そして、十分な分析とレパートリーの徹底的な研究の後、最終的には、彼自身の表現を借りれば「かなり直観的に」目指す方向へと進んでいる。フランクフルター・アルゲマイネ・ツァイトゥング紙は「ひととき優れた表現力に富む音楽家であり、ピアノ演奏において特にドイツ芸術の流れを汲む」と評する。

マティアス・キルシュネライトは主に、シューマンとメンデルスゾーン、シューベルトとブラームスのドイツ＝オーストリアロマン派の伝統を受け継いでいるが、レパートリーにはショパンやラフマニノフ、モーツァルト作品も含まれることは注目に値する。25枚に上る録音CDは常に高く評価されており、2009年にはメンデルスゾーンのピアノ協奏曲第3番の世界初の録音によってエコー・クラシック賞を受賞した。世界各国での多くの演奏活動により、長年にわたりその名を知られる存在であるが、決してその名声に甘んじることがない。彼の望みはただ一つ「素晴らしい、インスピレーションに満ちた音楽作品のほんの一部を」リサイタルやオーケストラ・コンサートを通じて聴衆に届けることである。

ドイツ・ヴェストファーレン生まれ。9歳のときにアフリカ・ナミビアに移る。1976年に単身帰国、デトモルド音楽院でレナーテ・クレッチュマー＝フィッシャーの門下生となった。その後師事した人物はマレイ・ペライア、クラウディオ・アラウ、ブルーノ・レオナルド・ゲルバー、シャーンドル・ヴェーグなど。ゲザ・アンダ国際コンクールといったコンクールで何度も入賞、輝かしいキャリアを積み、演奏の場を世界へと広げていった。

ロストック音楽・演劇大学教授として、自身の経験と芸術的理想を次世代の音楽家たちと分かち合いながら後進の指導にあたっている。また、浜松国際ピアノコンクール、仙台国際音楽コンクールなどの審査委員、2012年からドイツ東フリジアで開催されている「ゲツァイテン音楽祭」の芸術監督を務めるほか、ドイツの文化プロジェクト「Rhapsody in School」と「TONALi」での活動にも力を注いでいる。趣味は絵画、サッカー、イタリア料理。